

2020/10/12 (月)

朝の礼拝

聖書 フィリピ人への手紙 3章12-14節 (新約聖書365頁)

12 わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。13 兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、14 神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。

目標をめざして

この手紙を送った人はパウロです。パウロはイエスの弟子たちとは別に、当時のヘレニズム世界、地中海地域、遠くローマまで「イエスはキリスト、救い主である。」と伝えた伝道者です。

彼は由緒あるユダヤ人家庭に生まれ、高名な先生から教育を受け、熱心なユダヤ教の指導者となり、教会を迫害する先頭に立ちました。ユダヤ人としては非のうちどころのない者でした。

しかし彼はキリストと出会ったことにより、自分がこの家に生まれ教育を受け、知識と経験を積んできた以上にキリストを知ったことの幸いを覚えました。そして人生を180度方向転換したのでした。

パウロは恵まれた人生を歩んできたと思います。でも、それ以上にキリストと出会ったことで「いかに生きることが幸せなのか」を与えられました。パウロの目標はキリストと共に生きることでした。

(しばらく黙祷しましょう)

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。あなたの御恵みと導きの下、高校生は本日より、中学生は明日より中間テストを迎えます。どうか互いに励まし合い、試験に臨ませて下さい。そしてあなたと共に生きる幸いに導いて下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、歩ませて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン